

Vol.9  
2007.11

サリタム。

2007

うつす想い

ナラヲヨム 第9号 2007年11月22日発行 発行者●ナラヲヨム発行委員会 発行責任者●乾昌弘 企画編集●奈良県立図書館情報館



若い  
奈良

WAKAI NARA no.9

1300年の伝統をもつ奈良。  
長い歴史に新たなページを創る  
若い力があります。  
新しい風の“今”をお伝えします。



2年前、東大寺の旧境内の古家で  
産声をあげたアトリエから、  
地元奈良にこだわり、環境との融合を  
目指す新しいファッションシーンが  
生まれた。

飾りつけのない場所でこそ  
新たな創造・発信に挑戦したい。  
ここに奈良で。



ナラヲヨム Vol.9  
CONTENTS

- 01 若い奈良  
NATIVE WORKS. 岸本賢一・安田哲子<sup>のりこ</sup>
- 04 **特集1** 開館2周年！  
・「tribute to 光明」FASHION SHOW  
・オリジナルグッズ
- 06 **特集2** 想う 奈良ーう つす想い  
・鳥の息遣いや環境までを写す  
バードカービングの世界へ  
・悠久をうつす  
美意識の先に在る、形と染め色  
・最先端の医療機器が、体の中を映し出す！  
想いをかたちに奈良から世界へ 医師を育成せよ
- 12 奈良の街角  
図書情報館トピックス  
入館者数100万人突破！
- 13 図書情報館が読む  
絵図 時代をうつす感性
- 14 NARA 発信倶楽部  
企業人に聞く 丸山繊維産業 株) 代表取締役 丸山欽也氏
- 16 編集後記



04



06



13



## original goods

### 開館2周年記念 オリジナルグッズ発売!



▲クリアファイル



▲クリップ



▲ブックマーク



▲マルチメモ



▲キャンバスノート



▲ボールペン



▲トートバッグ

開館2周年を記念し、図書館のロゴマーク入りオリジナルグッズを期間限定で販売しました。(9月8日(土)~11月4日(日)の間の土・日・祝日)

### 「え! 図書館で ファッションショー」

2007年11月10日(土)、奈良の歴史と、地元奈良にこだわる気鋭のデザイナー岸本賢一、安田哲子が出会い、イタリアンファッションテイストを加え、ここ奈良から「tribute to 光明」ブランドを発信しました。その数24体。1300年の昔、活動する女性として、また、慈悲の心で人々を導いたといわれる、光明皇后へのオマージュを現代ファッションで表現する試み。図書館開館2階吹き抜けの大階段から、過去と現在そして未来への予感が、会場全体を包み込みました。

ファッションショーに先立ち、プロローグに続いて、特別ゲストを交えてのトークで幕が開きました。ファーストステージでは、光明皇后ゆかりの法華寺の樋口教音副住職が皇后の人となり語り、デザイナーの岸本賢一さん、フードコーディネーターの勝井順子さんが今回のファッションショーへの想いを語りました。また、セカンドステージでは、書家の紫舟さんが、黄色とウコンの色を使った「明」の一文字をバックに、この書にこめた想いを語りました。「太陽と月が合わさったこの字には、光明皇后の深い優しさがこめられている。」

メインエントランスでは、フードコーディネーターとしてこだわった、野菜を使ったイタリア料理を、また、(社)日本バーテンダー協会奈良支部は、光明皇后に縁の深い百日紅をイメージしたノンアルコールカクテルを提供。奈良にこだわったイタリアンカフェレストランが出現しました。

図書館は、この日一日、衣、食、飲、伝統文化などそれぞれの分野で奈良の心がデザインされ、表現された特別な空間になりました。

## fashion show

## 奈良県立図書館 開館2周年!

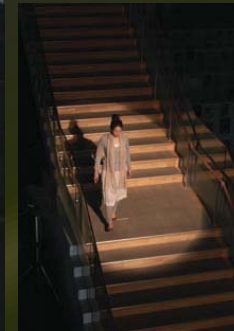
特集

### 開館2周年記念「tribute to 光明」FASHION SHOW 開催!

2005年11月、手塚治虫とさだまさしで幕を開けた図書館も、はや開館2周年を迎えました。自ら発信し、進化する図書館の挑戦が続きます。



トーク風景▶  
(ファーストステージ)



▲トーク風景(セカンドステージ)



▲百日紅をイメージしたノンアルコールカクテル



▲衣食同源  
FOOD&DRINK コーナー



▲ミラノ食堂のイタリア料理





# 鳥

の息遣いや環境までを写す

## バードカービングの世界へ

バードカービングの世界に魅せられて独学で技術を磨かれた鎮目直樹さん(57)を大和郡山市の自宅に訪ねました



オオバン  
(California Open 2005 上級ライフサイズ部門 1位、総合 1位)  
次の一歩の動きが見える会心の作品。



オカメインコ  
(California Open 2005 上級ライフサイズ部門 3位)  
製作で一番気を使うのが嘴(くちばし)と目。まぶたの精緻さがチャームポイントとなる

### もともとカモなど狩猟のおとりに作ったデコイが狩猟の木彫りの鳥

本場アメリカではプロの作家もいるほど盛んなバードカービングは、鳥の骨格や筋肉、生体まで丹念に調べて製作されます。美術品としてだけでなく自然保護の観点から博物館で剥製の代わりに使われています。

そんなバードカービングの世界に魅せられて独学で技術を磨かれた鎮目直樹さん(57)は、もともと生物が専門の高校教師。鳥の息遣いやその視線、周りの音まで聞こえてきそうなりアリティとファンタジーを感じさせるその作品は、生きている鳥以上に見る者を惹き付け、本場のアメリカでも数々の賞を受賞されています。



- (1) **スズガモ・ペア** (Ward World Championship 1999 中級ミニチュア部門 2位、全日本バードカービングコンクール上級ミニチュア部門佳作) 今まさに着水しようとするカモの視線や姿態にも注目
- (2) **エンペラーペンギン** (Ward World Championship 2000 中級ミニチュア部門 1位、総合 3位) アメリカでもっとも権威のあるコンテストでの受賞作。プリザード(猛吹雪)の中を、親の後ろからとぼとぼ歩く子ペンギンの表情が何ともいえない。
- (3) **ウミアイサ** (Ward World Championship 1998 初級ライフサイズ部門 3位) デコイの本場アメリカで、あえてカモを題材にして入賞した思い出深い作品



バーニングペンで羽を削る  
硬い羽の表現には素材を焼きながら削るバーニングペンが活躍



31歳の時たまたま図書館で出会ったバードカービングの本がこの世界へのめり込むきっかけ。当時は情報も少なく手探りで製作を始めるが、1997年に本場アメリカの大会に出品して自信をつけ本格的に取り組みはじめる。2001年からは国内コンクールでも連続受賞。本職の生物教師のかたわら、後進の指導やコンクールの審査員もつとめる。定年後、独立した工房を構えるのが夢。

自宅工房の鎮目直樹さん

日本バードカービング協会(<http://homepage2.nifty.com/jbca/>) 関西バードカービングクラブ(<http://kbcc-kubo.hp.infoseek.co.jp/>)

# 悠久

をうつつす

美意識の先に在る、

# 形と染め色

二上山のふもと 葛城市兵家にある 中居公子さんのアトリエ Atelier 想い



飛天  
〈長福寺の梵鐘  
美門子色  
つむぎ〉



地藏菩薩



当麻寺の古代瓦〈柿渋染め・つむぎ〉

拓本・染色工芸品はすべて一点物  
ひとつひとつが  
その表現に最も適した作品構成  
素材・色彩・デザインが一番美しく見える  
その先がこの形になったということ。

心に書き留めた想いを  
そのメーヅに合った  
石仏・古代瓦・歌碑などの  
拓本にのせる  
表装には自然の色で  
染め上げられた趣のある布



### 採扱（湿拓法）

- ① 被拓物に画仙紙をのせる
- ② 濡れたタオルなどで細かく丁寧に押さえていく
- ③ 乾いた布で押さえる
- ④ 拓墨
- ⑤ 二つのタンゴ（綿を羽二重でまいて縛ったもの）を摺り合わせる（うすく何回も）

本物（真）は自然のなかにある。自然回帰。色は、柿渋・草木・ロウケツ染。何回も何色も塗り重ねて誰にも出せない自分色を… 妥協はしない。

言葉々メッセージの発信。言葉が先の場合と後からの場合と何日か経つと恥ずかしくてもそれがそのときのそのままの自分だから… そこに共感が生まれる

アトリエ 想い  
想うではなく想い  
人へ 自然へ 森羅万象を 心象風景を



### INFOMATION

2008年4月11日～16日まで  
個展「中居公子・染めの世界」が予定されています。

ギャラリー創 大和高田市片塩町17-12  
TEL 0745-52-8286（休館・木曜） 出品：灯り・拓本・タペストリー・のれん

### こんな本はひかがでしようか…

草木染日本の色百二十色

山崎青樹著 【東京：美術出版社、1982.12】

日本の草木染を120点の配布付きで解説する豪華資料本です。





最先端の医療機器が、体の中を映し出す！

想いをかたちに 奈良から世界へ

医師を育成せよ

奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科情報生命科学専攻 生命機能計測学講座 湊研究室



MRI機器

◆体内を3D立体画像化

日本の医師の数は、現在およそ30万人。この医師の技術レベルをあげようという試みははじまっています。奈良先端科学技術大学院大学の中尾恵助教（奈良県五條市出身）を中心とするメンバーは、患者の体内をCT・MRI撮影、パソコン内でこれを束ねて立体画像化して、手術前に確認できるシステムを開発。画像の特定部位を指定すれば、大きさや深さを自由に選んで観察できます。

◆臓器の触感をも再現

また、このシステムで、グローブを装着すると、パソコン上に体内の立体画像と手のCG画像とが表示され、グローブを装着した手を動かして、CGの手が臓器に触れ

◆実用化近づく 術前リハールシステム

さらに、外科医のスキルをシステム内にアーカイブし、計算機内で再現することができます。パソコンで実現された最先端のこのシステムは、VR（バーチャリアリティ）技術を応用、感触が手に伝わる立体画像を操作することで、実際の手術のシミュレーションを可能にします。画面上で病状の確認をおこなうだけでなく、手術のリハールまで可能になります。

◆ニーズの傍らでシーズを創る

「ニーズの傍らでシーズ（種子）を創る」。これが、研究室を束ねる湊教授のモットー。熟練した医師のスキルを次世代へうつす—そんな医師の育成システムづくりをめざして奈良盆地の先端から世界へ向けて情報を発信しています。構築されたシステムは、大学病院への導入もはじまっています。



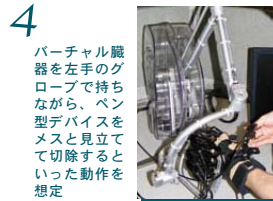
3 特定部位を指定して臓器を観察



1 2次元CT



2 3D立体画像化



実際に血管を触ってみるととっても確い！動脈硬化なのだそうです。

術前リハールシステム



湊教授

中尾助教

グローブを片手に装着しながら3Dグラフィックはできないので大変

奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科情報生命科学専攻 生命機能計測学講座 湊研究室 〒630-0192 生駒市高山町 TEL 0743-72-5320 FAX 0743-72-5329 URL http://kotaro.naist.jp/





「企業人に聞く」

# 奈良の魅力 って何ですか？



企業人  
丸山繊維産業株式会社  
代表取締役 丸山欽也氏

**弊** 社の創業は昭和5（1930）年で、奈良市西城戸町で蚊帳の縫製工場をはじめたのがはじまりです。昭和30年代後半あたりまでが蚊帳の全盛期でしょうか。30年代半ばに天理市長柄町で製造工場を稼動させました。

しかし、蚊帳製造業も30年代後半から急速に減速期を迎えます。殺虫剤、網戸の普及や下水道整備などが進み、蚊帳の需要が減少したわけです。昭和40年、蚊帳製造業の技術を応用し、当時、新素材であった合成繊維「ビニロン」で農業用寒冷紗「遮光・防虫を目的

## 奈良は“何もない”のがいい。奈良の原点を伝えたい。

とした織物」の製造に転換していききました。寒冷紗は、現在でも当社の主力商品のひとつです。やがて、オイルショックを経て、業界の先細りが懸念されるなか、蚊帳織りという粗い織物での新たな用途開発を模索することになりました。2〜3年市場調査などをし、たどり着いたのが、ギフト用包装資材でした。調査の過程で、マニラ麻の織物を見て新用途の可能性を感じたわけです。展示会などを開き、大手花店なども商品を置いていただきましたが2〜3年は、鳴かず飛ばすの状態でした。

その頃、商品の売り込みや飛び込み営業は大販出張所が中心で、そんななか、船場の包装問屋の話がまとまり、店頭販売もさせていただけることになったわけです。その問屋さんからは、今後の事業拡大のために、強く東京進出を勧められ、そんなこともあって、東京での営業を開始し、平成3年には、毎年春と秋に行われるギフトショーへの出展を決意したわけです。そこでは、ニロンのある異業種の企業に数多く出会うことができました。これまでの狭い業界では出会えなかった多くの企業に出会うことができ、幸運だったと思います。この包装資材は、丸山繊維の包装資材ということで、「マルラップ」と命名しました。マルラップの製造・売上げは、平成14年くらいまで肩上がりで推移し、全体の売上げの半分程度を占めるまでになりました。しかし、この頃を境に、減少傾向に入り、さらなる用途開発の模索がはじ



▲巻紙布ブックカバー



▲ふすま地ブックカバー

まったわけです。そんななか、平成16、17年に経済産業省の「中小企業自立支援事業」に応募しました。蚊帳の縫製技術の用途開発として、奈良町ではじまった蚊帳作り、そんな背景から、和に根ざしたインテリア雑貨的なものを、大手の下請けではなく、自ら作り、価格設定をする、そんな隙間産業的な狙いで、紙のより紐で布を織り製品化する（経糸レヨン、緯糸紙糸）ことを考え、この支援事業が採択され、平成17年7月にアンテナショップでありショールームでもある「ねっとわーくぎやらっふならまっふ ならまち店」を設立しました。この場所は、祖父母が住んでいた場所、いわば当社の原点といっても過言ではない場所なのです。ブランド名を「ならまっふ」と名付けました。和のテイストのある奈良の布、という意味ですね。

これまでの試みの原点には、奈良で生まれた地場産業としての蚊帳が、この奈良から消えてしまっている、という危機感もあります。蚊帳の産地としての奈良、その織物や技術を継承し、発信していきたいということがあります。そういった歴史を大切にしたいということが原点にあるわけです。もちろん、これらの試みが、商業ベースになるかどうか、という課題はありますが、企業である以上、利益をあげなければなりません。メーカーとして、下請け、製造販売、新規事業のパランスを考えていくことは言うまでもありません。これまでコアの事業として寒冷紗製造がありました。それが、それも40年以上になります。新たなコアになる製造販売商品ができるかどうか、そんな試みでもあるのです。

奈良で生まれ育ち、当たり前のように家業を継ぎ、今に至っています。それだけに、奈良への思い、こだわりも強いと思います。奈良には、開発され、あるいは整備される以前の原型みたいなものが、そこそこにあるのがあると思うんです。言い換えれば、奈良は、何も無いのいい、何も無いように見えて、実は物事の原型みたいなものがちゃんと見える、そんな姿に魅力があると思っています。

今後とも、この奈良から奈良らしい味わいのあるテキストをもった製品を創造し、発信していきたいと思えます。（談）



【丸山繊維産業株式会社 ねっとわーくぎやらちならまっふ ならまち店】<http://naramachi.nawrap.com>

四季折々美味探求  
みさき寿司や柿の葉ずし、創作すしの  
風味豊かな手づくり味をお楽しみください

株式会社 中谷本舗

〒631-0011 奈良市押小路2141-1  
TEL 0742-48-2000 FAX 0742-47-6330  
<http://www.wjz888.co.jp>

お細く長くの  
おつきあひ

株式会社 中谷本舗

〒631-0011 奈良市押小路2141-1  
TEL 0742-48-2000 FAX 0742-47-6330  
<http://www.wjz888.co.jp>

伊勢・鳥羽・志摩へは  
近鉄特急で快適に!

近鉄  
センター

旅客案内テレホンセンター  
TEL 0742-13-0100 年中受付  
06-6771-3105  
<http://www.kintetsu.co.jp/>

伊勢・鳥羽・志摩へは  
近鉄特急で快適に!

近鉄  
センター

旅客案内テレホンセンター  
TEL 0742-13-0100 年中受付  
06-6771-3105  
<http://www.kintetsu.co.jp/>

奈良豊澤酒造株式会社

奈良市今市町405番地  
TEL 0742-61-7636  
<http://nara-toyosawa.jp/index.htm>

梅乃宿酒造株式会社

奈良市今市町405番地  
TEL 0742-61-7636  
<http://nara-toyosawa.jp/index.htm>

梅乃宿酒造株式会社

奈良市今市町405番地  
TEL 0742-61-7636  
<http://nara-toyosawa.jp/index.htm>

麒麟のほんもの  
キリンビール株式会社  
奈良統括支社

<http://www.kirin.co.jp/kansai>

丸山繊維産業株式会社

〒630-8371 奈良市西城戸町五番地  
TEL 0742-22-8851  
<http://naramachi.nawrap.com>

どんなに生活が変化しても  
人と人のつながりは  
変わってほしくないと  
願いたいものです。  
〈ナント〉はこれからも  
人と人のつながりを大切に  
地域の皆さまとともに  
歩んでいきたいと思ひます。



**NANTO 南都銀行**  
奈良市橋本町116 TEL.0742-22-1131

南都銀行はまほろばの心を  
未来へと伝えます。

7色印刷・イベント・IT・セールスプロモーション・ノベルティ



株式会社 明新社  
MEISHINSHA  
URL <http://www.meishin.co.jp>  
E-Mail [info@meishin.co.jp](mailto:info@meishin.co.jp)

- 本社 630-8141 奈良市南京終町3丁目464番地  
TEL 0742-63-0661 (代) FAX 0742-63-0660
- 大阪営業所 543-0001 大阪市天王寺区上本町6丁目8番1号  
TEL 06-6771-4501 (代) FAX 06-6773-0492
- もちいどの店 630-8217 奈良市橋本町36番地  
TEL 0742-23-3131 (代) FAX 0742-26-0093



M.P.S  
+RGB  
PRINTING



JQA-EM2026  
合格



環境にやさしい大豆油  
インキを使用しています。

## 「編集後記」

ナ ララヨム第9号は、1つは  
図書情報館開館2周年とい  
うことで、2周年記念特集とし  
ました。11月10日の「trib  
ute to 光明」Fashion  
showは、2階から  
3階に吹き抜けるメイン階段を  
舞台に、奈良の素材、デザイン  
1によるショーが華麗に繰り広  
げられました。明かりに浮かぶ  
舞台、夕日のなか、庭にうつる  
図書情報館は、まるで夢のよう  
でした。

また、特集「想う奈良」は、  
うつつ想いをテーマに、さまざ  
まな想いをかたちにしてみました。  
身近な花や木や生物、自然の  
うつろいに視線をそそぎ、「写  
生」をする。「写生」は、対象  
を自分の感覚で捉え、感性に触  
れたものをすくいあげる営みに  
他ならない。対象との触れあい  
語り合いのなかから生まれる表  
現行為。シャッターを押せば瞬  
時に撮れる「写真」においても  
アングル・構図によって芸術性



写真:「子規の庭」(日本料理 天平倶楽部内)

いた。「うつつ」と  
いうと、写生の文  
祖といわれる正岡  
子規を思い浮かべ  
ます。興福寺の境  
内をぬけて県庁か  
ら国道369号沿  
いを歩くこと20分  
ほどの「天平倶楽部」  
というお店に「子  
規の庭があります。  
お庭の奥に柿の木  
と歌碑があり、「秋暮る、奈良  
の旅籠や 柿の味」の句があり  
ます。江戸末期から明治、大正  
にかけてこのあたりに「對山樓  
角定」という老舗旅館があり、  
子規が明治28年10月26日から4  
日間奈良に滞在し読んだ句であ  
るとのこと。秋深まる中、柿の木  
もきれいに色づいています。

が生じる。子規の「写生論」です。  
自然の営みを言葉によってもつ  
くいあげる、線により色によつ  
てすくいあげる表現は人それぞれ  
でしよう。「鳥の息遣いや環  
境までを写すパトカビング」  
「悠久をうつす美意識の先に在  
る、形と染め色」「最先端の医  
療機器が、体の中を映し出す」  
の3つをとりあげました。それ  
ぞれの「うつつ想い」を実感し  
てください。(力)

◆撮影協力:日本料理 天平倶楽部  
(奈良市今小路町四五二)

ナララヨム 第9号 平成19年11月22日発行

企画編集 奈良県立図書情報館

発行責任者 乾 昌弘

発行者 【ナララヨム発行委員会】  
(株)南都銀行  
(株)明新社  
キリンビール(株)奈良統括支社  
梅乃宿酒造(株)  
奈良豊澤酒造(株)  
(株)中谷本舗  
近畿日本鉄道(株)  
(株)三輪そうめん山本  
(株)互恵  
割烹 つる由  
丸山繊維産業(株)  
奈良トヨペット(株)

編集協力 (株)読売奈良ライフ

題字 紫舟

本誌の無断複写・複製・転載を禁じます。



割烹  
つる由

奈良市昭陽町212-1  
0742-26-7798  
奈良市磯智院2-1  
0742-27-3025